

# シラバス対応表（1年生）

## Gコード科目（歯学科・口腔生命福祉学科共通）

講義番号	科目名	開講学期 ▲1学期 ▼2学期 ●通年	単位	代表教員	頁
260G4253	歯学スタディ・スキルズ	▲ 4月～7月	2	濃野 要	8

## 歯学科専門科目

講義番号	科目名	開講学期 ▲1学期 ▼2学期 ●通年	単位	担 当 (教育研究分野)	頁
260DS101	早期臨床実習 I	▲ 4月～7月	1	歯科臨床教育学分野 臨床系各分野	10

## 口腔生命福祉学科専門科目

講義番号	科目名	開講学期 ▲1学期 ▼2学期 ●通年	単位	代表教員	頁
260DA101	早期臨床実習 I B	▲ 4月～7月	1	吉羽 永子	12

科 目 名：歯学スタディ・スキルズ

担当教員名(所属)：濃野 要、斎藤 有吾、秋葉 陽介、西山 秀昌、Stegaroiu Roxana、新美 奏恵、丹原 惇

開 講 番 号：260G4253

開 講 学 期：第1, 2ターム

水 準：11

単 位 数：2 単位

対 象 学 部 等：歯学部1 年生

### 【科目の概要】

この授業では、教えられる受け身の学習から能動学習への転換を図るために必要な基礎的能力を育成する。歯学教育ならびに口腔保健福祉学教育の入り口として、主体的な学びの習慣を身につける場となっている。

### 【科目のねらい】

知識基盤社会において生涯にわたって学ぶ習慣を身につけた人材となるために、自ら課題を見つけ、必要な情報を収集、分析、統合し、論理的に思考して問題を解決する能力を修得する。

### 【学習の到達目標】

各回の授業で学んだ知識と技能をもとに、レポートを作成し、その内容をプレゼンテーションする。その過程を通じて、以下のことができるようになる。

- 学習のためにコンピュータを効果的に活用する。
- 与えられた課題から問題を見出し、その解決策を結論する。
- 自分の主張の根拠を示し、対立意見より自分の主張が優れていることを示す。
- 自分の主張・結論を文章および口頭により、わかりやすく他者に伝える。

### 【授業の実施形態について】

授業は演習方式で進められる。毎回の授業終了時に小課題が出されるので、自宅等で自主学習を行い、期限までに指定された方法で提出する。課題の提出をもって出席とする。質問等は教員宛の電子メールで受けつける。

### 【登録のための条件（注意）】

自宅におけるインターネット環境を整備することが望ましい。

### 【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	4/10 3限	ガイダンス(濃野)	コンピュータの取り扱いに慣れておくこと
	4/10 4限	コンピュータの基本操作(丹原)	
2	4/17 3限	医歯学図書館の利用方法(医歯学図書館職員)	テキスト第1章、第2章の要点確認
	4/17 4限	電子メールの使い方(丹原)	
3	4/24 3限	インターネット・セキュリティ(西山)	テキスト第5章、第11章の要点確認
	4/24 4限	レポートの書き方(その1)(丹原)	
4	5/1 3-4限	ワードの基本操作(西山)	テキスト第7章の要点確認
5	5/15 3限	情報倫理(西山)	テキスト第6章、第11章の要点確認
	5/15 4限	レポートの書き方(その2)(丹原)	
6	5/22 3限	情報検索の仕方(医歯学図書館職員)	テキスト第4章、第11章の要点確認
	5/22 4限	レポートの書き方(その3)(丹原)	
7	5/29 3-4限	エクセルの基本操作(濃野)	テキスト第8章の要点確認
8	6/5 3-4限	デジタル情報の取り扱い(西山)	テキスト第3章の要点確認
9	6/12 3-4限	パワーポイントの基本操作(新美)	テキスト第9章の要点確認
10	6/19 3-4限	オリジナル・スライドマスターの作成(斎藤)	テキスト第10章の要点確認、予習動画の視聴
11	6/26 3-4限	プレゼンテーションの仕方(秋葉)	テキスト第12章の要点確認
12	7/3 3-4限	レポート完成、プレゼンテーション作成(丹原・秋葉)	課題レポート、発表スライドの作成
13	7/10 3限	プレゼンテーション完成(秋葉)	発表スライドの作成、テキスト第13章の要点確認
	7/10 4限	英語で考えよう(ロクサーナ)	
14	7/17 3-4限	グループ発表(西山・秋葉・丹原・濃野・斎藤)	発表の準備
15	7/24 3-4限	全体発表(全教員)	課題レポート提出の準備

### 【成績評価の方法と基準】

レポートとプレゼンテーションにより評価する。レポート(60%)、プレゼンテーション(40%)で、60点以上を合格と判定する。レポートの評価基準(ルーブリック)は使用テキストに掲載しており、プレゼンテーションもこれに準じる。なお、毎回の授業終了時に出される小課題を提出しない者は、出席不足として、成績判定の対象にならない(単位認定さ

れない) 場合があるので、十分に注意すること。

**【使用テキスト】**

『大学で学ぶための学習ガイドブック 第2版』(小野和宏・新潟大学歯学部編, 2022)  
1回目の授業時にテキストを配布する。

**【参考文献】**

参考・推薦図書等がある場合は、授業時に担当教員が紹介する。

**【参考Webサイト】**

関連リンクがある場合は、授業時に担当教員が紹介する。

**【生成AIの利用について】**

本科目では、レポート、試験、その他の課題作成において、特に指示の無い限り、生成AIの利用を全面的に禁止します。また、授業で配布される全ての資料に関して、生成AIに読み込ませることも禁止します。全ての成果物は、学生自身の知識と思考に基づき作成してください。利用が確認された場合は、不正行為とみなし、学則に基づき厳格に対処します。

**科目名**：早期臨床実習Ⅰ

**担当教員名(所属)**：藤井 規孝、吉羽 永子、柴田 佐都子、米澤 大輔、諏訪間 加奈、小田島 あゆ子、松本 明日香、中村 太、長谷川 真奈、小林 亮太、笹 杏奈、大川 純平、田中 裕、倉田 行伸、五月女 哲也、高原 信太郎、西山 秀昌、Rosales Marcelo、原 実生、工藤 武久、KAUNG MYAT THWIN、都野 さやか、竹内 涼子

**開講番号**：260DS101**開講学期**：第1学期**水準**：13**単位数**：1単位**対象学部等**：歯学部歯学科1年生**【科目の概要】**

歯科医学学習のスタートに臨み、医療人としての道を歩み始めたことを自覚するため、自ら患者役を体験する「患者役実習」、各専門診療科の治療を見学する「治療見学実習」の2つの実習とグループ討議・発表を行う。

※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

**【科目のねらい】**

「患者役実習」では、自ら患者となることで、患者の肉体的・精神的苦悩を体験し、歯科医師や歯科衛生士等の医療人としての態度や知識、技量を観察する。「治療見学実習」では、各専門診療科での治療の流れ、必要な基礎的・臨床的知識や技量、コ・デンタルスタッフとの連携などを体験する。これら2つの実習とグループ討議・発表を通じて、歯科医学の目的と学習の目標を明確にし、病院スタッフおよび患者さんとのコミュニケーションの大切さを理解する。

**【学習の到達目標】**

- ・社会通念上、常識的な態度・会話を説明する。
- ・社会人としての基本的な身なり、振る舞いを実践する。
- ・患者さんとコミュニケーションする。
- ・医療スタッフとコミュニケーションする。
- ・問題点について、その要点を的確にまとめる。
- ・歯科医療を行うに当たって学習しておくべき項目を列挙する。
- ・障がい者の身体的、精神的および心理的特徴を知り、基本的な対応ができる。また、介護の重要性を説明する。

**【授業の実施形態について】**

医歯学総合病院を学習の場として見学実習および体験実習を行う。また、実習を通じて得られたこと、感じたことを実習日誌に記録する。

グループ討議・発表ではグループごとに自ら課題を設定する。討議を通じてプロダクトを作成し、全体討議で発表・討論を行う。

さらに全実習を通じた感想を1分間の個人スピーチで発表する。

**【登録のための条件(注意)】**

各回の集合場所・集合時間の詳細・服装等については入学ガイダンスおよび初回授業時に指示する。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	4/10(金) 1-2限	実習の説明・病院見学	事前配布資料、医歯学総合病院歯科HPの確認
2	4/17(金)	各班に分かれて「患者役実習」「治療見学実習」「車椅子実習」「グループディスカッション」を行う	歯科医療スタッフおよび医院に勤務する職種の確認 治療見学车椅子の取扱に関する学修前までの振り返り、全体発表の準備
	4/24(金)		
	5/1(金)		
	5/15(金)		
	5/22(金)		
	5/29(金)		
	6/5(金)		
	6/12(金)		
	6/19(金)		
	6/26(金)		
	7/3(金)		
	7/10(金)		
	すべて1-2限		
3	7/17(金)	全体発表・討議	グループごとに発表・討議の準備
4	7/24(金) 1-2限	1分間スピーチ・実習のまとめ	スピーチ、全体を通しての質問などの準備

**【成績評価の方法と基準】**

実習日誌(40%)、実習総括レポート(20%)、グループディスカッションの成果(30%)、1分間スピーチによる感想発

表（10%）をもとに、総括的評価を行う。

**【使用テキスト】**

指定しない。必要に応じて資料、プリントを配布する。

**【参考文献】**

必要に応じて、授業で紹介する。

**【生成AIの利用について】**

本科目では、生成AIの利用を条件付きで許可する。利用する場合は、以下の点を遵守すること。

1. 生成された内容をそのまま使用せず、情報の正確性や適切性を必ず自身で検証し、修正すること。
2. 最終的な成果物の責任は、学生自身が負うこと。
3. 不適切な利用（許可されていない範囲での利用や他者の著作権侵害など）が確認された場合は、学則に基づき厳格に対処する。

**科目名**：早期臨床実習ⅠB

**担当教員名(所属)**：吉羽 永子、藤井 規孝、中村 太、長谷川 真奈、竹内 涼子、小林 亮太、西山 秀昌、田中 裕、倉田 行伸、五月女 哲也、工藤 武久、KAUNG MYAT THWIN、原 実生、外園 真規、Rosales Marcelo、大川 純平、笹 杏奈、柴田 佐都子、米澤 大輔、諏訪間 加奈、小田島 あゆ子、松本 明日香、都野 さやか

**開講番号**：260DA101**開講学期**：第1学期**水準**：13**単位数**：2単位**対象学部等**：歯学部口腔生命福祉学科1年生**【科目の概要】**

歯科医学学習のスタートに臨み、医療人としての道を歩み始めたことを自覚するため、自ら患者役を体験する「患者役実習」、各専門診療科の治療を見学する「治療見学実習」の2つの実習とグループ討議・発表を行う。

※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

**【科目のねらい】**

「患者役実習」では、自ら患者となることで、患者の肉体的・精神的苦悩を体験し、歯科医師や歯科衛生士等の医療人としての態度や知識、技量を観察する。「治療見学実習」では、各専門診療科での治療の流れ、必要な基礎的・臨床的知識や技量、コ・デンタルスタッフとの連携などを体験する。これら2つの実習とグループ討議・発表を通じて、歯科医学の目的と学習の目標を明確にし、病院スタッフおよび患者さんとのコミュニケーションの大切さを理解する。

**【学習の到達目標】**

- ・社会通念上、常識的な態度・会話を説明する。
- ・社会人としての基本的な身なり、振る舞いを実践する。
- ・患者さんとコミュニケーションする。
- ・医療スタッフとコミュニケーションする。
- ・問題点について、その要点を的確にまとめる。
- ・歯科医療を行うに当たって学習しておくべき項目を列挙する。
- ・障がい者の身体的、精神的および心理的特徴を知り、基本的な対応ができる。また、介護の重要性を説明する。

**【授業の実施形態について】**

医歯学総合病院を学習の場として見学実習および体験実習を行う。また、実習を通じて得られたこと、感じたことを実習日誌に記録する。

グループ討議・発表ではグループごとに自ら課題を設定する。討議を通じてプロダクトを作成し、全体討議で発表・討論を行う。

さらに全実習を通じた感想を1分間の個人スピーチで発表する。

**【登録のための条件(注意)】**

- ・各回の集合場所・集合時間の詳細・服装等については入学ガイダンスおよび初回授業時に指示する。

**【授業計画】**

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	4/10(金) 1-2限	実習の説明・病院見学	事前配布資料、医歯学総合病院歯科HPの確認
2	4/17(金)	各班に分かれて「患者役実習」「治療見学実習」「車椅子実習」「グループディスカッション」を行う	歯科医療スタッフおよび医院に勤務する職種の確認 治療見学车椅子の取扱に関する学修前回までの振り返り、全体発表の準備
	4/24(金)		
	5/1(金)		
	5/15(金)		
	5/22(金)		
	5/29(金)		
	6/5(金)		
	6/12(金)		
	6/19(金)		
	6/26(金)		
	7/3(金)		
	7/10(金)		
	すべて1-2限		
3	7/17(金)	全体発表・討議	グループごとに発表・討議の準備
4	7/24(金) 1-2限	1分間スピーチ・実習のまとめ	スピーチ、全体を通しての質問などの準備

**【成績評価の方法と基準】**

担当教員による「患者役実習」の評価(15%)、「治療見学実習」の実習日誌(25%)、実習レポート(20%)、グループ討

議の成果（30%）、1分間スピーチによる感想発表（10%）をもとに、総括的評価を行う。  
AIを利用しての、日誌、レポート、討議、スピーチ原稿作成等は禁止する。

**【使用テキスト】**

指定しない。必要に応じて資料、プリントを配布する。

**【参考文献】**

必要に応じて、授業で紹介する。

**【生成AIの利用について】**

本科目では、レポート、その他の課題作成において、生成AIの利用を全面的に禁止します。また、授業で配布される全ての資料に関して、生成AIに読み込ませることも禁止します。全ての成果物は、学生自身の知識と思考に基づき作成してください。